

子育て交流広場は、旧役場から
保健センター2階に移転しました



基山町

議会だより

No.34



平成22年 第2回定例会・第2回臨時会

6月議会

議案審議、補正予算	P 2
第2回臨時議会	P 3
委員会報告・請願の結果	P 4～5
8人 町政を問う	P 6～11
賛否表	P12

平成22年 7月15日発行

中・長期財政計画はどうなっているのか？

平成22年第2回基山町議会定例会は、6月4日に開会し、6月14日に閉会した。

議案は、「基山町固定資産評価審査委員会委員の選任について」をはじめ、補正予算も含めて、10議案、報告3件あり、第3次国土利用計画を除き原案通り可決した。

また、今議会で「基山町議会改革特別委員会」を設置した。

主な議案審議 (補正予算も含む)

実施計画をなぜ提出しないのか

質問 補正予算を審議する前に、実施計画や中・長期財政計画が出されていない。予算編成上、大事な計画書が提示されていない中、審議できない。早急に提出してほしい。

回答 大変遅れて申し訳ない。実施計画については、早急に提出する。(議会休憩中に、提出された。)

要望 来年は予算審議の前に提出してほしい。

実施計画とは

第4次総合計画(基本構想・基本計画)に基づいた事業の実施に関する年次計画とその財政的裏付けになるもので、毎年度の予算編成の指針となる。

質問 中・長期財政計画はいつ提出するのか。

回答 現在、各課に予定額を出させている。精査しながら、積み上げていく。9月の議会前までには提出する。

第3次国土利用計画は

質問 全員協議会での説明と、今回の提案は2か所変更になっている。なぜか。

回答 全員協議会で説明し、意見を聞いて、再度精査して追加した。

質問 審議会で議論して答申された内容を修正していいのか。

回答 議会の意見を聴く中で修正するのは問題ないと思う。(なお、本計画は3常任委員会で閉会中の連合審査を行うことになった。)

学童保育・主任指導員の 手当支給の補正は

質問 3月議会で議論した主任指導員の手当について、支給できるように検討する、と言われていたが、なぜ、補正を組んでいないのか。

回答 早急に支給できるように検討している。また、保育料の料金徴収方法の見直しも併せて検討している。9月に新料金になるので、それまでには結論を出す。

要望 行政のスピードは遅い。早急に実施できるように要望する。

議会改革特別委員会 を設置

基山町議会改革特別委員会は6人の議員で構成された。将来にも適合する議会改革について調査、研究、審議することとなる。

委員長	松石 信男
副委員長	品川 義則
委員	片山 一儀
委員	鳥飼 勝美
委員	後藤 信八
委員	重松 一徳

一般会計補正予算

1343万円追加し、総額50億8220万円に

主な補正事業と予算額

コミュニティ助成事業補助金 (宝くじ助成を利用、6区公民館備品購入)	160万円
敬老祝い金 (従来の敬老祝い金支給のため、追加)	373万円
広域入所保育事務委託料 (町内から町外保育所に預けるための事務委託)	355万円

各種予防接種委託料 (日本脳炎予防接種、三歳児対象、年2回)	469万円
商店街等活性化事業委託料 (緊急雇用創出事業で、商工会に委託)	240万円
若基小学校修繕料 (職員室クーラーの修繕費)	69万円

特別会計補正予算

	補正額	補正後の予算額
国民健康保険特別会計	27万円追加	15億8,793万円
後期高齢者医療特別会計	41万円追加	1億7,837万円
下水道特別会計	735万円減額	7億135万円

平成22年5月20日 第2回臨時議会を開催

町有地を温浴施設建設予定の企業に売却

現在、温浴施設建設の準備を進めている進出企業の申し出により、下記内容で売却します。

町有土地 基山町大字園部弥生が丘5001番
面 積 18,108㎡
相 手 方 メークス(株) 茨城県守谷市
金 額 4,067万円



主な審議内容

(事前に開催された全員協議会の質疑も含めて)

Q なぜ売却としたのか。

A メークス(株)より申し入れがあり、町としても林地を売却すると固定資産税が見込めるため、メリットがある。

Q 売却価格の算定基準はなにか。安いのではないか。

A 現在の用途指定の山林としての鑑定価格である。1㎡あたり2246円となる。

Q 町有地の一部分を貸し付けとするのはなぜか。

A 将来の町道として確保しておきたいため、賃貸とした。

Q 温浴施設につながる塚原・長谷川線の延伸を早くすべきではないか。

A 必要性は感じるが、事業の優先順位もある。アクセス道路として前向きに検討したい。

国保税の限度額を引上げを厳しく審議

内容 国の地方税法、政令の改正が3月末で改正されたため基山町の国保条例を改正するもの

国保税限度額の引上げ

	現行	改正
医療費分	47万円	50万円
後期支援分	12万円	13万円
介護分	10万円	10万円
合 計	69万円	73万円

この改正案に対し

- ・ 国の改正で、基山町も自動的に上げるのは問題ではないか
 - ・ なぜ国保運営協議会にも諮らず、しかも専決処分したのか
 - ・ 上限73万円の保険税が高すぎるという認識はあるのか
- など厳しい質疑が行われた。

乳幼児、児童の医療費助成の改正

従来総合病院では診療科ごとに診療報酬明細書を作成していたため、2以上の診療科で診療すると、それぞれで300円の負担があったが、4月分より1枚の明細書となり、負担も軽減される。

緊急雇用創出で商店街等活性化を図る

総務常任委員会

商店街等活性化事業委託料240万円については国の雇用対策として、非自発的離職者等を6カ月単位で雇用する為の「緊急雇用創出事業臨時特例基金交付金」の事業として、基山町商工会に委託して行うものである。

内容は、商工会で2名を雇用して、消費の町外流出の防止を目的に、新しく切り替わったポイントカードの内容分析し、消費動向を把握し、地元消費拡大対策と商店街活性化を図るもの。

雇用は6カ月であるが、延長も可能である。

子育て支援などのため、町職員の休暇をとり易く

町職員の勤務時間、休暇に関する条例を改正

国の法律の改正に伴う措置で主に以下の内容

- ① 3歳までの子を養育する職員が、時間外勤務ができないと申し出た場合、原則免除する。
- ② 出産補助休暇について、これまで産後の14日以内に2日取得できたのを、産前産後とも8週間以内に5日取得できる。
- ③ 就学前の子を養育する職員の看護休暇は負傷、疾病に加えて病気の予防も含めて1人の時は5日間、2人以上の時は10日間取得できる。

防も含めて1人の時は5日間、2人以上の時は10日間取得できる。

④ 短期介護休暇を新設し、年5日、2人以上の時は10日取得できる。

これらの休暇は子育て支援など社会的要請も多く、休暇を取得できるように仕事の協働など体制作りを確立するよう要望した。

所管事務調査

防火施設の管理状況を現地確認

委員会は5月7日、町内に2か所(白坂、黒目牛)ある、蓋のない防火水槽の現地確認した。

水槽の周囲はフェンスの設置等をしているが、今後、安全性の確認を行い、必要となれば平成24年度に改善を考えるとのことである。

また、耐用年

数の30年を経過した消火栓の改善を計画的に行うが、今年度は高島団地内等の4基の改善を行うとのことである。



▲蓋のない防火水槽(黒目牛)

ひまわり教室待機児童の早急な解消を

文教厚生常任委員会

放課後児童クラブについては、今年4月からひまわり・コスモス教室とも2クラスずつに分離し運営されている。しかし、ひまわり教室は現在15名の待機児童がいる。委員会としてはその早急な解消を図るよう強く要望した。

国民健康保険特別会計の健全運営を

基山町の国保税は県下で一番高いことが分かった。他の社会保険税に比べても高く、国保に加入している世帯では家計に占める割合が多く、大きな負担になっている。その健全運営のためには、国民健康保険運営協議会で十分な審議をされるよう要望した。

所管事務調査

地域包括支援センターについて

高齢者の相談窓口である包括支援センターは、今まで役場内に設置されていた。基山地区地域包括支援センターとして、今年4月1日から寿楽園内に移転した。



▲子育て交流広場

基山町子育て交流広場について

旧役場内にあった交流広場は、今年4月1日から保健センター2階に移転した。広々としたプレイルーム・畳敷きのランチスペース・スタッフルームがそれぞれよく機能していた。たくさんさんの親子が訪れて、交流することを期待したい。

雇用創出基金で4人雇用

産業環境常任委員会

政府の緊急雇用創出事業により、町は生活環境係に離職を余儀なくされた失業者等を対象に4人雇用し、ごみの不法投棄パトロール、林道清掃、植木の剪定等を行ってもらっている。期間は、平成22年4月から平成23年3月までとなっている。

道は、基山山頂から古屋敷地区、柿の原地区へと抜ける林道です。復旧工事は350mにも及び、工事総額は6,000万円程度の費用が見込まれている。委員会では早期の復旧工事が必要だが、二次被害等が起きないように十分配慮して工事を行うよう要望した。

所管事務調査

寺谷林道崩落現場を調査

昨年7月24、25、26日の豪雨によって町内の道路や河川、農地などが大きな被害を受けた。生活道路、農地などは激甚災害に認定され、復旧が進んでいる。今回、委員会は林道復旧工事が予定されている寺谷林道災害現場の調査を行った。寺谷林



▲寺谷林道崩落現場

請願書の審査結果

3月定例会で継続審査となった請願書が4件あり、その結果は次のとおりである。

請願第1号 神ノ浦ため池の環境改善に関する

「町道本桜・城の上線」新設道路の見直しについて…………… 不採択

審査経過及び委員会の意見

神の浦ため池の埋め立てについては、以前から10区より要望がなされていた。その主な理由として、環境衛生の保持、法面崩壊防止等である。

ため池の埋め立てにあたっては、既存の道路では、幅員も狭く、既存道路を使って埋め立てを行うと日常生活に多大な支障を生ずることから、新たな道路が必要である。仮設道路と新設道路を比較すると、仮設道路の場合は、工事費の全額が町負担となる。新設道路の場合は、国庫補助が1/2あり、財政負担においても軽減される。また、新設道路整備により、緊急車両が通行可能になるなど、地域住民の生活向上につながると考えられる。以上の理由から新設道路の必要性を認め不採択とした。

新設道路整備については、地域住民の生活に支障を生じないように、十分な配慮と対話を持って対応するよう強く要望する。

請願第2号 基山町議会傍聴規則の改正について…………… 不採択

請願第3号 インターネットを活用した情報公開について…………… 不採択

請願第4号 基山町議会報告会について…………… 不採択

審査経過及び委員会の意見

請願の要旨の基本的な方向性については賛成意見もあった。請願第2号については、録音や撮影の利用目的等が不明確である。請願第3号については、技術的措置、財政措置や人的措置などが不可欠であり検討が必要である。請願第4号については、議会基本条例を制定して実施している団体もあるし、議会で具体的に検討すべきである。などの意見が出され、議会改革特別委員会においてこれらの件も含めて協議されることから、3件とも不採択と決定した。

一般質問

8人町政を



傍聴者52名(のべ人数)

基山町の人口減少対策は

大山 軍太議員



を取っても劣っていないと思う。人口減少を止めるには、住んで頂く努力が必要と思うが。

質問 一時は大型開発等で急激に増加し、平成12年には19173人となり、その後減少が始まり、約10年で、1230人減少している。対策の妙案も無く今の状態では衰退に衰退を重ねる。

町長 人口減少については、少子高齢化に伴う、全国的な問題である。しかし、だからといって、本町も、人口減になって良いとは思わない。人口増につながる対策が必要であると考えている。

質問 本町は、自然環境にも恵まれ交通の利便性も良く、他の市町にも何

人の増でいずれの市も人口増になっている。

質問 人口減少対策プロジェクトチームが発足されたと聞いているが。

町長 定住、人口増対策検討委員会を設置。5月末まで9回会議を開催し現在検討を続けている。

弥生ヶ丘までの路線延長は、温浴施設の平成23年開業が決まり基山町活性化のために必要と思う。

道路行政について

質問 塚原・長谷川線の

質問 近隣地域の人口の動態は、鳥栖市、小郡市、筑紫野市の5年間の人口の増減はどのようになっているか。

町長 鳥栖市4455人の増、小郡市1335人の増、筑紫野市3533



▲自然と一体の基山町

二つのワクチンの 自治体助成を！

大山 勝代議員



などにかかりやすいといわれている。5歳未満の子に数回接種すると、高い予防効果があると言われている。

質問 最近子宮頸がんで死亡する女性が増えている。その予防ワクチンが日本でもようやく認可された。

また乳児がかかる細菌性髄膜炎に効くヒブワクチンも輸入されるようになった。この2つのワクチンの有意性を説明してほしい。

町長 子宮頸がんの原因はHPV（ヒトパピローマウイルス）と言われている。このウイルスの感染を防ぐために11〜14歳の女子にワクチンを接種すると、70%予防できると期待されている。

また、乳幼児の体内にヒブ（Hib）という細菌が侵入すると、髄膜炎

クチンは半額助成で2万2千5百円。ヒブワクチンは1回につき3千円。

質問 基山町でも助成できないか。実施するためにはどれくらいの財政が必要か。

質問 それぞれのワクチン接種の費用はいくらかかるか。

町長 子宮頸がん予防ワクチンは、1万5千円×3回で4万5千円。ヒブワクチンは7千5百円×4回接種で3万円前後。

質問 任意接種で高額なワクチンのため子どもに接種させたくてもできないのが現状だ。そこで全国的に助成する自治体が広がっている。佐賀県ではどこが助成をしているか。

町長 小城市が22年から実施する。子宮頸がんワ

町長 子宮頸がんは中学2年生女子80人、1回につき半額として7千5百円でおおよそ90万円。ヒブは1回3千円で60人として95万円の試算ができているが、現在のところ助成は考えていない。

循環バス改善について

質問 循環バスの委託先が4月から基山タクシーに変わっているが、委託料はどう変更になったか。

町長 12年度から21年度まで西鉄バス佐賀（株）にお願いしてきた。今回見積り入れで、西鉄バス佐賀が約970万円。町内の基山タクシーが617万円で、355万円安かった。後者に変更した。

質問 いま全国的に路線バスが撤退して、地域住民の交通利便の確保はこの自治体でも重要な施策になっている。バスを2台に増やして、町民の要望にこたえられないか。

町長 アンケートの結果循環バスは継続していく。利便性を考えれば運行本数を増やしたり、路線の新設なども考えられるが、2台に増やすことは考えていない。

その他の質問

① ひまわり教室の待機児童の早急な解消について
② 10区・園部団地の井戸・タンク等の撤去について



▲母親からの免疫力が消える（生後6ヶ月）ころの赤ちゃん

議長交際費の公表（平成22年度 4月～6月）

支出種別	支出年月日	支出金額	支出の相手方及び行事名等
御 祝	平成22年 4 月 9 日	5,000円	4/11 JAさが基山支所女性部総会
御 祝	平成22年 4 月 15 日	5,000円	4/16 大興善寺つつじ園開園式
会 費	平成22年 5 月 14 日	10,000円	5/17～18 第35回町村議会議長会議長・副議長研修会
御 祝	平成22年 5 月 14 日	5,000円	5/28 基山スカウト育成会総会
御 祝	平成22年 5 月 28 日	3,940円	5/28 基山モール商店街協同組合第30回通常総会
御 祝	平成22年 6 月 3 日	5,000円	6/6 第23回基山剣道祭
計	6 件	33,940円	

口蹄疫対策は万全か

鳥飼 勝美議員



質問 宮崎県で発生した牛、豚の口蹄疫は、ウイルスによる強い感染力と死亡率の高さから、畜産関係者から最も恐れられている病気だ。町内での牛等の飼育状況は。

町長 町内には、牛の畜産農家6戸で206頭、豚はいない、ヤギ1頭、イノシシ7頭が飼育されている。

質問 万一基山町で発生したときの防疫対策はどのように実施するのか。

町長 発生した畜産農家から県の家畜保健事務所と連絡があり、その後、直ちに基山町に一報が入ることになる。それを受けて佐賀県の現地対策本部が基山町に設置され、基山町の対策本部とともに防疫対策が実施される。

質問 畜産農家の口蹄疫に対する危機感是非常に高いが、基山町の防疫対策はどのように行っているのか。

町長 5月26日に基山町口蹄疫防疫対策本部を設置している。本部長は町

ふるさと再生雇用基金事業について

質問 この事業は、国の

介護事業所、入居待機者のべ184人

重松 一徳議員



介護保険について

質問 介護保険は鳥栖・三養基郡の広域連合でこない、予算は約73億円だが、基金の状況は。

町長 平成21年度で約4億6500万円ある。

質問 町内介護事業所と受入人数は。

町長 特別養護老人ホームの寿楽園が70人、介護老人保健施設あおぞらが80人、介護療養型医療施設きやま高尾病院が120床で、全て満員になっている。

質問 満員ということは、待機者がいると思うが。

町長 寿楽園は110人（うち町民53人）、あおぞらが59人（同25人）、高尾病院が15人いる。のべ184人いる。

質問 待機者解消のために受入の増加や、施設の増築がお願いできるのか。

町長 現在、介護保険施行から4期目に入り、平成24年度から5期目に入る時に、待機者の状況を報告し、受入の増加をお願いしたい。

質問 それぞれの介護事業所は将来も基山町内で運営してもらえるのか。

町長 寿楽園が来年度には鳥栖市の方に移転するとの話を聞いている。

要望 基山町内から病院や介護施設が移転するのでも人口減少の一因になっていると思う。引き続き

町内で運営してもらうように要望をしてほしい。

質問 地域包括支援センターが民間に委託された主な原因は何か。

町長 職委託職員の賃金が約17万円で確保が難しく、長期雇用が出来ないのが主な原因だ。

要望 大事な公共的支援センターだ。待遇改善を図り、直接役場が運営するよう要望する。

公園・道路行政について

質問 総合公園事業の最終完了時期と事業総額は。

町長 平成2年から始め、工事完了時期は平成26年まで予定している。事業総額は約55億2200万円になる予定だ。

質問 菖蒲坂水辺公園の建設も始まるが、協働の発想は含まれているのか。

町長 管理に関しては協働も考慮したい。

質問 公園建設に対して、CSOや団体から協働の申し入れがあっているのか。

町長 何かの折に話したが、設計段階で意見を聞くべきだった。しかし、現行案で進めたい。

要望 公共事業の税金無駄遣いみたいな現行案には反対だ。CSOや子供たちの意見を取り入れてほしい。



▲デイサービス事業所の昼食風景

緊急雇用対策として、地域の雇用情勢が厳しい中、雇用機会を創設する目的のための事業である。なぜ町長は、基山町のまちづくり推進事業（新規雇用1名）しか取り組まなかったのか。

町長 基本的には、相違点はないと考えている。中間報告等を考慮して、今後の修正等も考えている。

社会体育について

町長 このふるさと再生雇用基金事業としては、庁内への周知期間が短かったため、協働のまちづくり推進事業しか取り組んでいない。

質問 基山町の社会体育の現状と課題を教育長はどのように認識しているのか。

質問 平成22年度の協働のまちづくり推進事業委託料6百万円の事業計画は、平成21年度事業と同じ内容で行うのか。

町長 今年度は、この事業を再点検し、見直しを図っていく。

質問 町長が議会に提案されている、「まちづくり基本条例案」と議会特別委員会の「まちづくり基本条例の中間報告」との間では、基本的な問題等を含め、相違点があると思う。今後、この条例

の成立をどのように考えているか。

町長 基本的には、相違点はないと考えている。中間報告等を考慮して、今後の修正等も考えている。

質問 基山町の社会体育の現状と課題を教育長はどのように認識しているのか。

教育長 町民の方が健康で豊かなライフスタイルを構築するためには、生涯を通してのスポーツに親しめる環境づくりが必要と考える。

質問 基山町体育協会の自主的運営や責任体制の強化等のため、公益法人化は考えていないのか。

教育長 基山町体育協会は、昭和39年に任意団体として設立している。今後、体育協会の法人化を含めた組織づくりを協議することも必要と考える。

当初予算の調整・審議

片山 一儀議員



質問 予算の調整手順・過程は。

町長 11月上旬、町長方針、予算編成説明会、12月末提出、1月中旬事業仕分け、財政課査定、1月末町長査定を行う。

質問 基山町の事業仕分けは誰が行っているか。

町長 町長、総務課長、企画課長、財政課長で行っている。

質問 どの市町村も財政が厳しいと言いつつ負担金等の削減を始めている。基山町の負担金は約9億円だが。

町長 9億円は負担金と補助金である。補助金検討委員会では削減できるところは削減している。勇断をもって更に

削る必要があるのでは。予算積算の多くは例年主義、実績主義という安易な方法だ。必要性による厳格な見積り、積算をしないと無駄が生じるのでは。

町長 事業評価まで踏み込んでやるべきだと思っている。それに似たことはやっている。事業により積上げをし、必要により見積りも取っている。

質問 地元業者でない者に予算の見積りを依頼している。入札・発注時、見積りを出した業者が有利にならないか。

町長 見積りは、「予算の見積りですよ」と依頼している。

質問 町内業者から見積りを取るのが肝要ではないか。予算の調整は実施計画に基づきと回答されたが、総合計画にない「神の浦溜池道路の建設」等

の事業が出ている。思いつき事業ではないか。計画作成を部外委託し、自ら作成しない事に原因がある。

町長 コンサルの活用は町の意思を入れればよい。現職員数を考えればコンサルの活用はある。

質問 現職員数と言われるが、基山庁舎は、夜殆ど電気が消えている。議会に提出すべき予算は、地方自治法に定められている。これ等の審議は皆無と言つてよい。

行政からも力説はない。予算審議資料の作成視点は何か。

町長 継続費等は議案でお願いし、他は補足説明している。

質問 公債費等を真剣に審議をしないと、孫・子まで負担することになる。経験豊富な課長が作る資料で議会審議も変わる。データが無い議論は空虚である。

町長 審議資料は、職員に趣旨がわかる資料を作らせる。

行政計画等の審議委員会

質問 行政計画策定等の審議委員の選考基準はどのように考えているか。

町長 各審議会の目的に応じた専門的な考えを有する方々を選考している。

質問 委員の要件に「学識経験者」とある。基準はあるか。

町長 その道に詳しい、人格識見をもった方だ。

質問 定性的な表現である。選任基準が必要。審議は何のためにするのか。町民の意見を聞いたという儀式のためか。

町長 行政運営に対し、専門的な意見や町民の意見を反映するためだ。

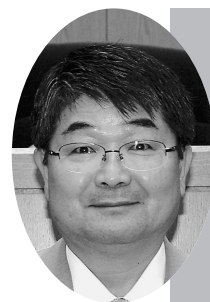
質問 審議会の多くは5回だ。北九州市基本条例審議會は90回開かれた。基山町の国土利用計画審議會は3回だった。真剣な審議を考えているか。

なぜ5回なのか。その対価は時間に関係なく5700円だが、なぜか。

町長 審議会の目的・内容により異なる。審議員の費用は日当制だ。

佐賀県一高い国保税 1世帯1万円の引き下げを

松石 信男議員



所得の2割が国保税

質問 国民の所得は低下しているのに、国保税は上がり、支払いが困難になる世帯が増えている。国民健康保険制度は社会保障として国民皆保険制度を支える大切な制度だ。町民の方から「国保税が高い、引き下げて欲しい」との声がある。

町長 平均所得は1117万6千円、国保税は18万5960円。所得の15・8%である。

質問 自営業で所得200万円、4人家族、(夫、妻40歳、子ども2人)の場合の国保税は。

町長 40万8900円で所得の20%となる。

質問 実に所得の2割の国保税、これが町民が払える水準か。

町長 かなり高額だなと思う。

質問 佐賀県一高い国保税を下げるために、一般会計から国保会計にお金を入れて1世帯1万円引き下げる考えはないか。

き下げる考えはないか。町民の23%が国保に加入しているので支障はないと思うがどうか。

町長 国保に加入していない人も負担になる。一般会計からの繰り入れはできない。

牛などの口蹄疫対策は

質問 畜産農家の戸数と牛、豚、などの頭数は。

町長 畜産農家6戸、牛206頭、ヤギ1頭、イノシシ7頭飼っている。

質問 消毒の一層の徹底と農家負担軽減のために消石灰の配布を求める。

町長 畜産農家に10袋ずつ配布したが、追加配布については状況を見て考える。

住宅改修に補助金を

質問 住宅をリフォームする場合10万円を限度に町が助成することで町内の中小零細業者の振興を図るもので、経済効果が助成額の20倍などの消費を生み出すもので、業者だけでなく町民にも喜ばれる。実施を求める。

町長 「いいな」と思うが、いまずぐに実施する考えはない。

一人当たりの国保税額と県内の順位

平成18年度	95,372円	3位
平成19年度	95,771円	2位
平成20年度	111,549円	1位

基山町



▲高速筑紫野インターの口蹄疫消毒ポイント

委託費見直しを

品川 義則議員



質問 平成18年度から指定管理者制度を活用し、基山町社会福祉協議会へ委託した「老人憩いの家」の利用状況はどうか。

町長 職員が施設利用者いろいろなと尋ねた結果、アンケートを取ろうということになり内容について検討中である。

町長 憩いの家サークル活動、料理教室、レクレーション導入や、ボランティアの受け入れを行い「憩の家だより」や「社協だより」で情報提供に努めている。また、新しくサークル活動等で参加されている方が増加しているが、以前から利用者が高齢化等により減少している。年間の総利用者数は横ばいの状況である。

質問 町民と関わりが深い社会福祉協議会がホームページを開設していない。事業を委託している町としてできる事はないのか。

町長 町のホームページも見にくいと言われているので早急に改善する。その時点でリンクできるようにしたいと考え検討している段階である。

質問 利用者を増やしていく政策を図るために、

質問 経費（人件費を除く）削減はできているのか。

基山郵便局の移転計画に町の協力を求めているが、町の考えは

原 三夫議員



への移転について、町が支援する事は難しいと考える。

質問 基山郵便局がモール商店街への移転計画をもっている。理由は駐車場に問題があり、近隣や利用者に迷惑をかけていること。また、モール商店街への移転により駅前商店街の活性化に役立ちたいとの意向である。移転実現のために、上層部局への申請にモール商店街、町の要望等が早期移転に効果的との判断である。町は協力できないのか。

質問 郵便局が限定した場所はなぜ駄目なのか。

町長 移転したい意向は局長から聞いた。個人的には結構だと申し上げた。民間企業であり、努力して頂きたい。まず、地元商店街、商工会、近辺の区の方の強い要望が必要であり、今の状況では町は支援できない。

町長 基山郵便局の現状の問題点について改善のための協力は必要であると考えている。移転によって、相乗効果による活性化は理解する。しかし、限定した場所

要望 郵便局は民間と云えど、公共性は高いと思う。郵便局の移転は基山町の将来のまちづくりに与える影響は大きい。町民の利便性の向上にも役立つと思う。今後、行政も前向きに考えるよう強く要望する。

質問 公共下水道全体計画の見直しはどうか考えているのか。

町長 計画の見直しが必要と考えている。見直しを行うには、福岡県の流域下水道との調整が必要である。

予定だが見直しが検討されている。
市町村設置型合併浄化槽の推進を

質問 現在、基山町の汚水処理は公共下水道と、個人が設置する個人設置型合併浄化槽で処理している。公共下水道の見直し後は公共下水道との公平性から町が管理する市町村設置型浄化槽とすべきだ。

質問 基山町の汚水処理は宝満川上流浄化センターで処理するとなっているが浄化センター新設計画はどうなっているのか。

町長 建設は平成24年の

町長 本町の全体計画を見直す際に検討したい。



▲来客で混雑する基山郵便局前

町長 直営で行うよりも指定管理者による運営が、効率的かつ経費削減が図られている。

質問 委託期限が平成23年3月31日までだが委託先の見直しは行うのか。

町長 公の施設における指定管理者の指定手続き等に関する条例に基づき、手続きを進めていく。

質問 農事法人「ちぎりの里」に農産物加工場を委託したことによって加工場の経営は好転したのか。

が、稼働率、費用対効果等を考慮すると委託期限を終える今年度には厳しい判断を求められると思うがどう考えているのか。

その他の質問

・採算ベースで考えると厳しいと思うが、観光施設としての効果は大きいと考えているので、その点も含めて考えていきたい。

・買い物弱者問題について

・学校給食について

町長 「ちぎりの里」で努力していただいておりますし、以前よりは幾らか良くなっていると考えている。

質問 小松地区の水車精米所は老朽化による大規模な修繕が必要だ



▲小松の水車精米所

平成22年 第2回臨時議会・第2回定例会議案賛否表

区分	議案	結果	1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13
			大山勝代	重松一徳	後藤信八	鳥飼勝美	片山一儀	品川義則	林博文	大山軍太	松石信男	原三夫	平田通男	池田実
第2回臨時議会	基山町乳幼児及び児童の医療費の助成に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町有財産の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度基山町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（基山町税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（基山町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第2回定例会	専決処分の承認を求めることについて（平成21年度基山町一般会計補正予算（第7号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	欠	無記名投票による採決										
	平成22年度基山町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度基山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度基山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度基山町下水道特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成22年9月
「定例会の予定」

傍聴へどうぞ!!
車椅子席もあります

開会日は10日(金)、
一般質問は13日(月)・14日(火)、議案審議は15日(水)からの予定です。

広報編集委員会

委員長 品川 義則
副委員長 重松 一徳

委員 大山 勝代
委員 後藤 信八
委員 片山 一儀